



PRESS RELEASE

2015年3月19日

千葉県鴨川市でメガソーラー発電所運営事業を開始

-現地にて鴨川市長ご出席のもと落成安全祈願祭を開催-

日揮株式会社

日揮株式会社(代表取締役会長 佐藤雅之、横浜本社 横浜市西区みなとみらい2-3-1)が、千葉県鴨川市において開発を進めてきた大規模太陽光(メガソーラー)発電所は、本年1月5日に完成し、1月6日より売電を開始しております。本日(3月19日)、鴨川市 長谷川 孝夫市長をはじめ、庄司 政夫副市長、辰野 利文市議会議員、当社代表取締役社長 川名 浩一のほか多くの関係者のご出席のもと、落成安全祈願祭を執り行いましたので、お知らせいたします。

本事業は、当社単独で事業開発から、設計・調達・建設工事(EPC)、事業運営まで一貫して遂行するもので、当社にとって2件目の太陽光発電事業となります。操業開始後は、当社子会社の鴨川みらいソーラー株式会社が固定価格買取制度に基づき、20年間にわたって売電を実施する、国内有数の発電量を誇るメガソーラー事業となります。

国内において、メガソーラー発電所建設に適する建設用地が減少するなか、当社は国内外で培ったプロジェクトマネジメント力をもとに、効率的かつ経済性の高い事業計画の実現を目指し、事業者およびEPCコントラクターの立場から、複雑な土地形状の建設地において最大限の発電出力を可能にする設計・建設を行いました。

当社は、大分県において26.5MWのメガソーラー事業を展開しており、2013年5月1日に運転開始し、現在も順調に稼働しております。

加えてEPC事業としては、千葉県富津市におけるミツウロコグリーンエネルギー株式会社および株式会社レノバが中心となり開発されたメガソーラー発電所の建設工事を受注し、昨年7月に引き渡しを完了するなど、当社は複数案件を受注・建設しており、太陽光発電に関する事業者としての実績と知見を培ってまいりました。

世界的に電力需要が増加するなか、今後も当社はEPCビジネスで培った知見を活かし、国内のみならず、日照量の多い中東などにおける海外での再生可能エネルギー発電事業の開発にも積極的に取り組んでまいります。

<ご参考>

本発電所の概要

施設名	鴨川みらいソーラー太陽光発電所	
施設住所	千葉県鴨川市内浦字内浦山 3231 番 21 他	
敷地面積	約 36 万平方メートル（大蓉工業株式会社より貸与）	
運営事業者	鴨川みらいソーラー株式会社（日揮が 100%出資）	
	代表者	代表取締役社長 藤波 貢
	所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1
	設立日	2013 年 8 月 8 日
商業運転開始日	2015 年 1 月 6 日	
設備容量	3 万 1,211kW （年間発電量は一般家庭約 9,000 戸分の年間消費量に相当）	
施工会社	日揮株式会社	
スケジュール	2013 年 9 月 事業用地造成工事開始 2014 年 3 月 発電所本工事着工 2014 年 11 月 送電線への接続工事完了。試運転開始	
太陽光パネル	（株）東芝製および京セラ（株）製太陽光パネルを合計約 12 万 5,000 枚設置	

お問い合わせ先：日揮（株）広報・IR 部
遠藤／斎藤

TEL 045-682-8026

E-mail : endo.takeshi@jgc.com

saito.takuya@jgc.com